

食品ロスについて

【調査の目的】

日本国内では、売れ残りや期限切れの食品、食べ残しなど、本来食べられたはずの、あるいは食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス（フードロス）」が、国民一人当たり、毎日、おにぎり1～2個分（約1億2,700万人×134g×365日＝約621万トン）発生しているといわれています。

福岡県では、この食品ロスの削減のため、事業者や県民の皆様と行政が一体となって取り組む「福岡県食品ロス削減県民運動」を実施しており、昨年度から各種広報誌への広告掲載や街頭キャンペーンなどの啓発活動を実施してきました。

そこで、これまで啓発活動を行ってきた食品ロス削減に関する取組みの認知度合いを把握させていただくとともに、「食品ロス」を減らす有効な取組みについて、皆様の御意見をお聞かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思っております。

【調査の目的】

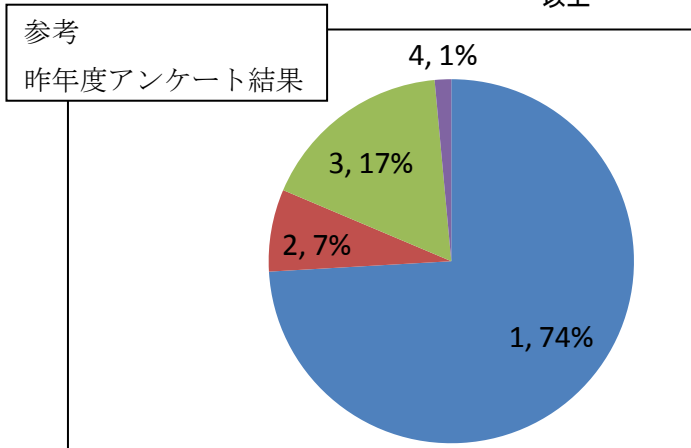
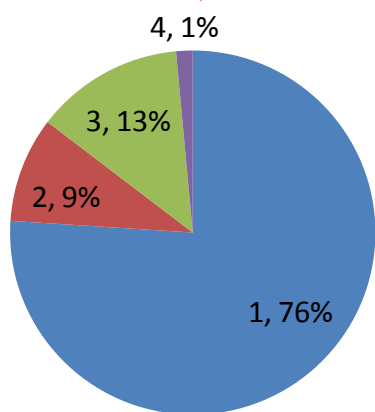
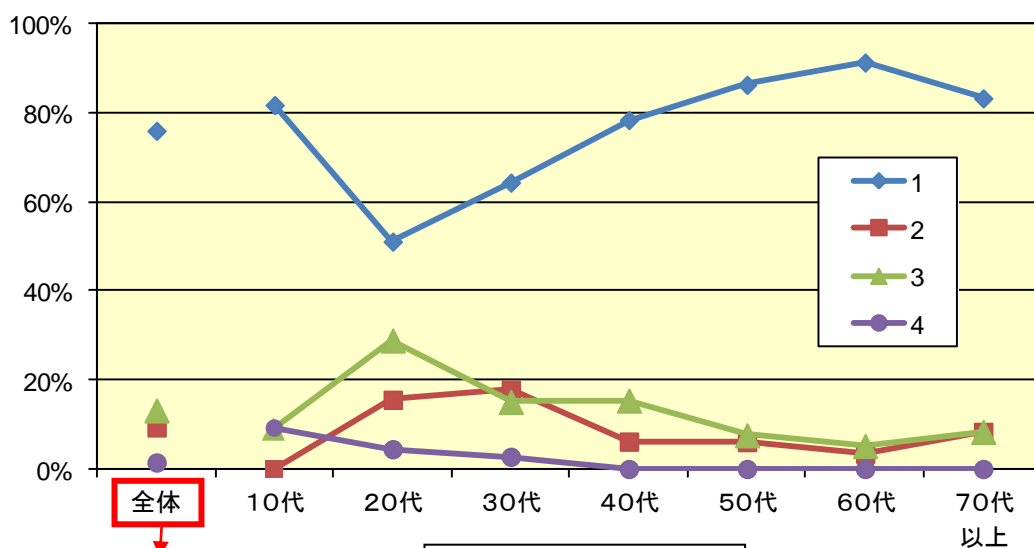
- ・食品ロス削減に関する啓発資材作成において、効果的な資材・内容等の策定に利用
- ・来年度事業方針の構築に活用

(環境部循環型社会推進課)

問1 「食品ロス（フードロス）」という言葉について聞いたことがありましたか。また、その意味を知っていましたか。次の中から【1つだけ】選んでください。

- 1 言葉は聞いたことがあり、「食べられるのに捨てられてしまう食品」ということも知っていた
- 2 言葉は聞いたことがあるが、「食べられるのに捨てられてしまう食品」ということは知らなかった
- 3 言葉は聞いたことがないが、「食べられるのに捨てられてしまう食品」があることは知っていた
- 4 言葉は聞いたことがなく、「食べられるのに捨てられてしまう食品」があることも知らなかった

	総回答数		性別回答数				年代別回答数													
			女		男		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
1	260	76%	144	72%	116	82%	9	82%	23	51%	47	64%	51	78%	57	86%	53	91%	20	83%
2	32	9%	23	11%	9	6%	0	0%	7	16%	13	18%	4	6%	4	6%	2	3%	2	8%
3	45	13%	31	15%	14	10%	1	9%	13	29%	11	15%	10	15%	5	8%	3	5%	2	8%
4	5	1%	3	1%	2	1%	1	9%	2	4%	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

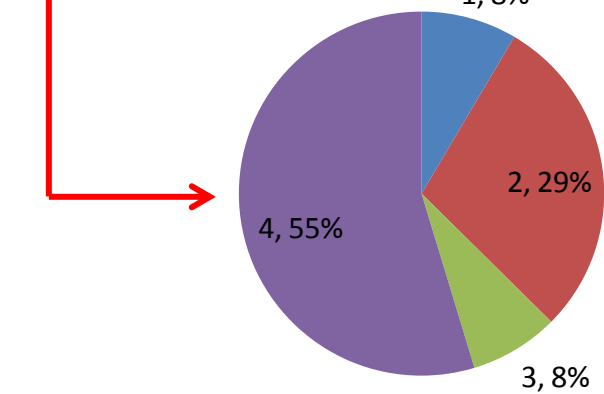
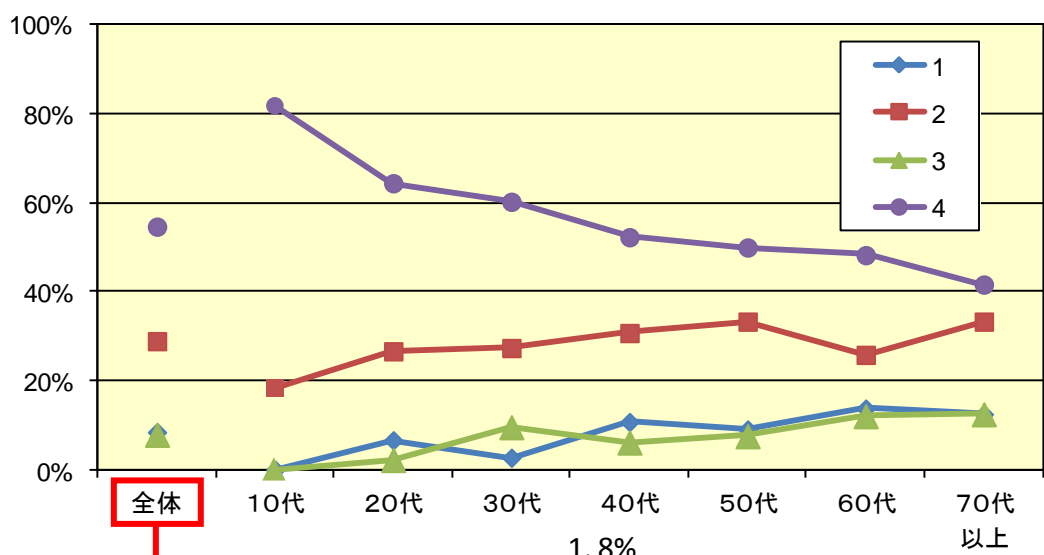


- 全体として約76%が「食品ロス」を正しく理解していた。
- 20代において、食品ロスへの認知度が低いとの結果を得た。

問2 宴会等で、乾杯後30分間と終了前10分間は席に着いて食事を楽しむことで、食べ残しを減らす、「30・10運動」について知っていますか。また、実践したことはありますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

- 1 知っており、実際に宴会等で実践したことがある
- 2 知っているが、実際に宴会等で実践したことはない
- 3 知らないが、類似した取組みを宴会等で実践したことがある
- 4 名称も知らず、宴会等で実践したこともない

	総回答数		性別回答数				年代別回答数													
	女	男	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上				
1	29	8%	11	5%	18	13%	0	0%	3	7%	2	3%	7	11%	6	9%	8	14%	3	13%
2	99	29%	58	29%	41	29%	2	18%	12	27%	20	27%	20	31%	22	33%	15	26%	8	33%
3	27	8%	14	7%	13	9%	0	0%	1	2%	7	10%	4	6%	5	8%	7	12%	3	13%
4	187	55%	118	59%	69	49%	9	82%	29	64%	44	60%	34	52%	33	50%	28	48%	10	42%

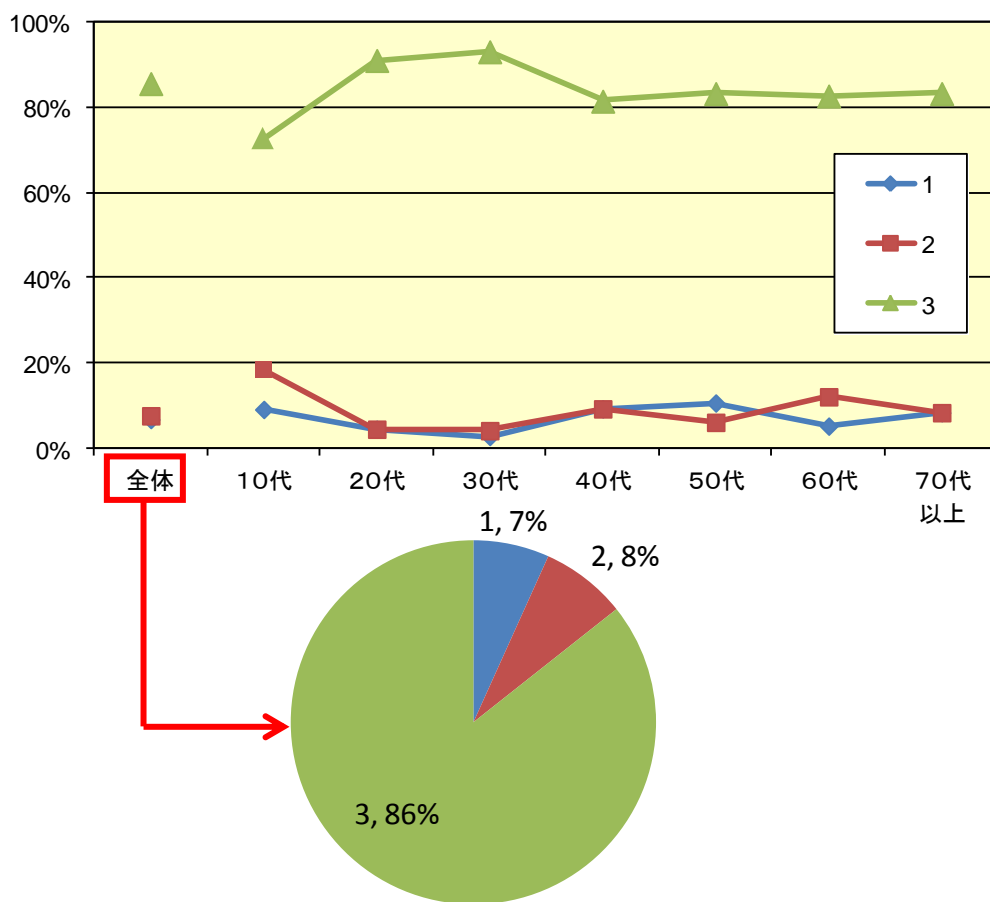


- 名称認知度（選択肢1，2）は約40%、運動実践度（選択肢1，3）は約15%であった。
- 年齢層の上昇と同時に運動実践度の上昇がみられた。

問3 「食べもの余らせん隊」について知っていますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

- 1 知っている
- 2 名前だけ知っている
- 3 知らない

	総回答数		性別回答数				年代別回答数													
	数	%	女		男		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上							
1	23	7%	13	6%	10	7%	1	9%	2	4%	2	3%	6	9%	7	11%	3	5%	2	8%
2	26	8%	8	4%	18	13%	2	18%	2	4%	3	4%	6	9%	4	6%	7	12%	2	8%
3	293	86%	180	90%	113	80%	8	73%	41	91%	68	93%	53	82%	55	83%	48	83%	20	83%

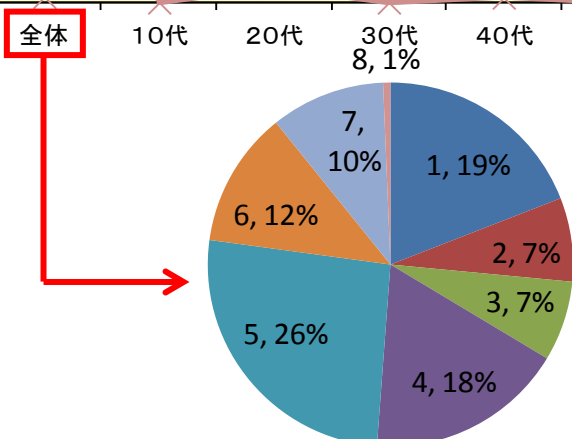
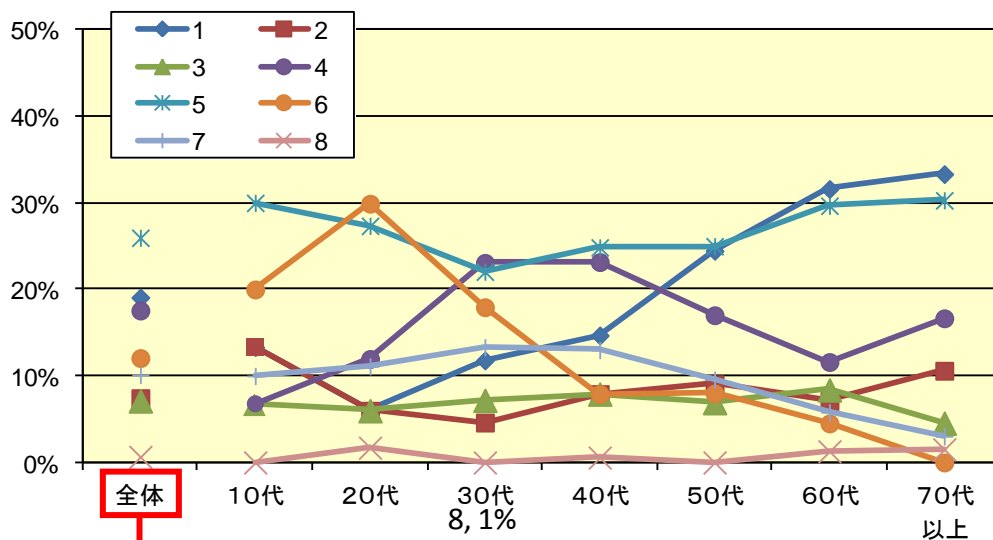


○ 全年齢層において知名度が低い（約7～27％）結果を得た。

問4 あなたが、普段目にする広報媒体は何ですか。次の中から【3つまで】選んでください。

- 1 新聞
- 2 公共交通機関内の広告
- 3 情報雑誌
- 4 フリーペーパー（福岡県だより等の行政広報紙を含む）
- 5 テレビ
- 6 SNS（FacebookやInstagramなど）
- 7 ホームページ
- 8 その他（次の設問で具体的に入力してください）

	総回答数		性別回答数				年代別回答数													
	数	率	女		男		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
1	177	19%	88	16%	89	24%	4	13%	7	6%	23	12%	26	15%	46	24%	49	32%	22	33%
2	69	7%	38	7%	31	8%	4	13%	7	6%	9	5%	14	8%	17	9%	11	7%	7	11%
3	66	7%	41	7%	25	7%	2	7%	7	6%	14	7%	14	8%	13	7%	13	8%	3	5%
4	163	18%	115	20%	48	13%	2	7%	14	12%	45	23%	41	23%	32	17%	18	12%	11	17%
5	241	26%	144	26%	97	26%	9	30%	32	27%	43	22%	44	25%	47	25%	46	30%	20	30%
6	112	12%	76	14%	36	10%	6	20%	35	30%	35	18%	14	8%	15	8%	7	5%	0	0%
7	94	10%	56	10%	38	10%	3	10%	13	11%	26	13%	23	13%	18	10%	9	6%	2	3%
8	6	1%	3	1%	3	1%	0	0%	2	2%	0	0%	1	1%	0	0%	2	1%	1	2%



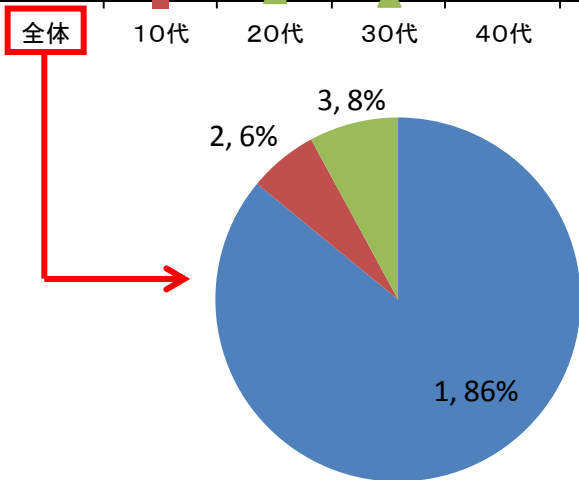
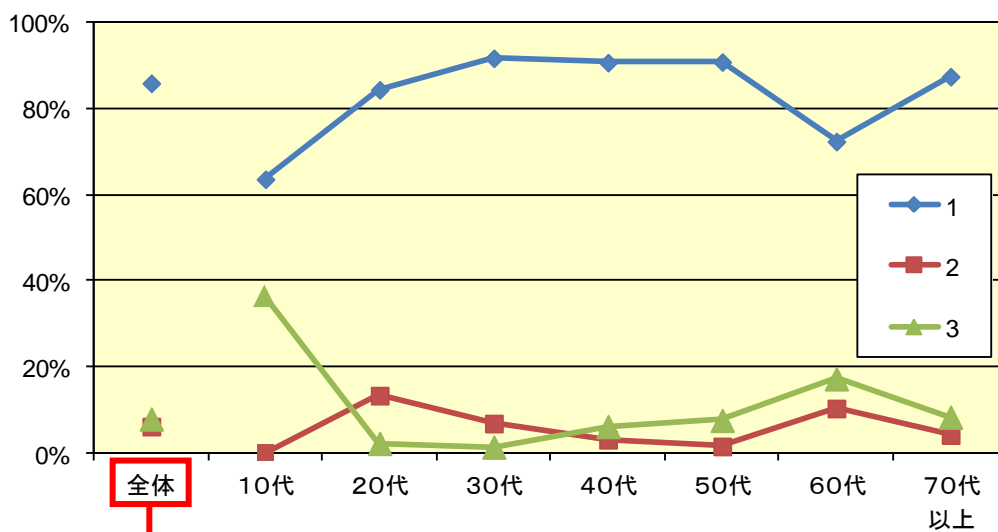
その他の回答：ネット広告、YouTube など

- 全ての年齢層においてテレビ視聴が多く見られた。
- 世代ごとに中心となる情報源が大きく異なる結果が得られた。
(10～20代：SNS、30～40代：フリーペーパー、50～70代：新聞)

問5 外食時に料理を食べきれなかった場合、可能であれば持ち帰りしたいと思いますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

- 1 持ち帰りしたいと思います
- 2 持ち帰りたくない
- 3 どちらともいえない

	総回答数		性別回答数				年代別回答数													
	数	割合	女	割合	男	割合	10代	割合	20代	割合	30代	割合	40代	割合	50代	割合	60代	割合	70代以上	割合
1	294	86%	178	89%	116	82%	7	64%	38	84%	67	92%	59	91%	60	91%	42	72%	21	88%
2	21	6%	9	4%	12	9%	0	0%	6	13%	5	7%	2	3%	1	2%	6	10%	1	4%
3	27	8%	14	7%	13	9%	4	36%	1	2%	1	1%	4	6%	5	8%	10	17%	2	8%

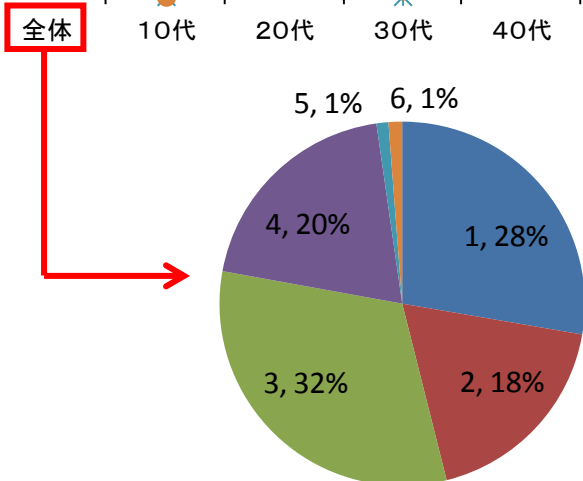
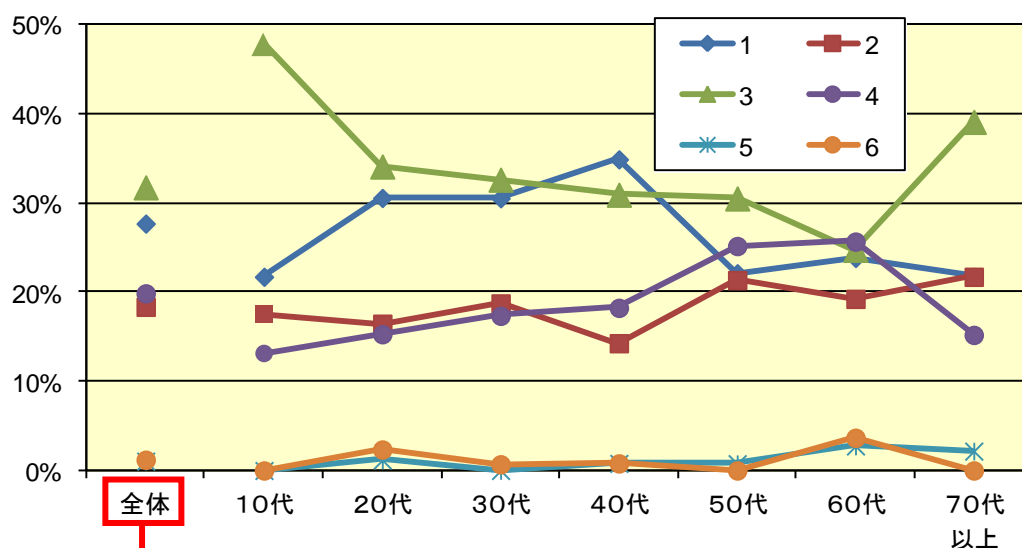


○ 全世代を通じて「持ち帰りしたい」という意見（約86%）が大多数を占めた。

問6 外食時に食べきれなかった料理の持ち帰りについて、飲食店からどのようなサービス提供があれば持ち帰りますか。次の中から【2つまで】選んでください。

- 1 ポスター等で「持ち帰りできます」と掲示されている
- 2 食品持ち帰りについてお店から口頭で案内を受ける
- 3 お店が持ち帰り容器を用意してくれる
- 4 お店が持ち帰り容器のほか、紙袋や保冷剤などを用意してくれる
- 5 その他（次の設問で具体的に入力してください）
- 6 持ち帰りたと思わない

	総回答数		性別回答数				年代別回答数													
			女		男		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
1	184	28%	114	29%	70	27%	5	22%	26	31%	44	31%	44	35%	29	22%	26	24%	10	22%
2	122	18%	74	19%	48	18%	4	17%	14	16%	27	19%	18	14%	28	21%	21	19%	10	22%
3	211	32%	126	32%	85	32%	11	48%	29	34%	47	33%	39	31%	40	31%	27	25%	18	39%
4	132	20%	81	20%	51	19%	3	13%	13	15%	25	17%	23	18%	33	25%	28	26%	7	15%
5	7	1%	2	1%	5	2%	0	0%	1	1%	0	0%	1	1%	1	1%	3	3%	1	2%
6	8	1%	3	1%	5	2%	0	0%	2	2%	1	1%	1	1%	0	0%	4	4%	0	0%



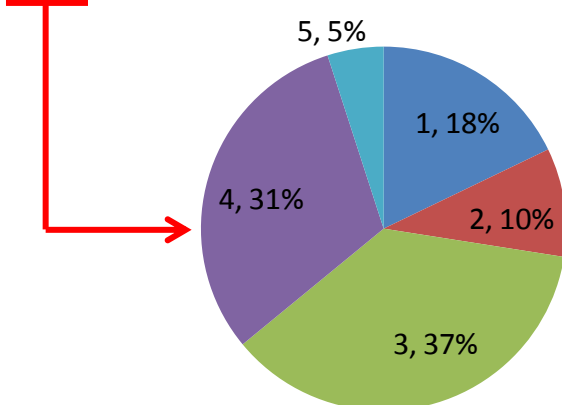
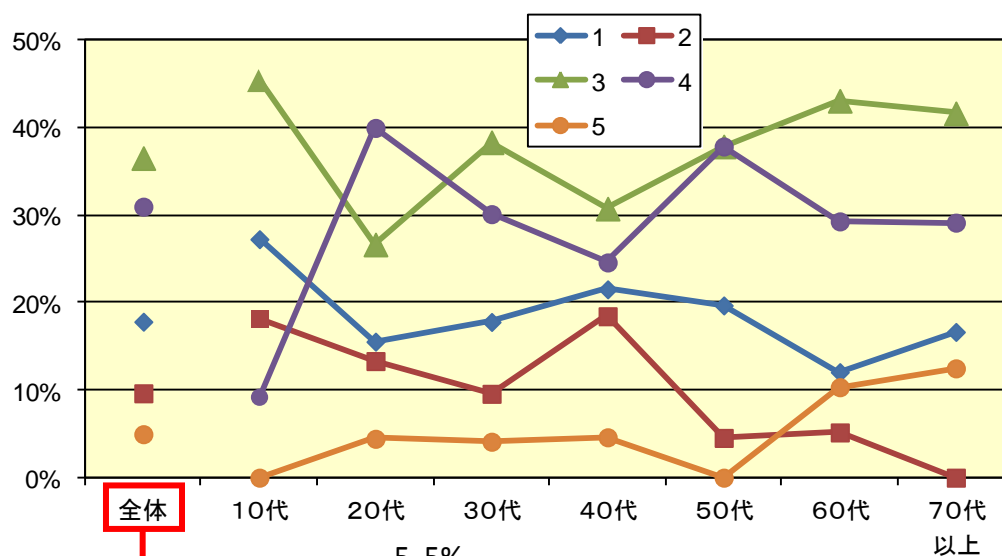
○ 全ての世代において、「店舗側への持ち帰り容器準備」の要望が強く、次いで「ポスター等による持ち帰り対応の掲示」が挙げられた。

※ その他意見は後のページで纏めて掲載としている

問7 家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体やフードバンク団体などに寄付する活動を行う場合、どのようにすれば食品を多く集めることができると思いますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

- 1 子ども会による廃品回収などの地域イベントに併せて回収する
- 2 学校に通う生徒を通じて学校に持ち込む
- 3 一定の期間、公民館や保健所等で食品寄贈を受け付ける
- 4 食品寄贈イベントを開催する
- 5 その他（次の設問で具体的に入力してください）

	総回答数		性別回答数				年代別回答数													
	数	割合	女		男		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
1	61	18%	30	15%	31	22%	3	27%	7	16%	13	18%	14	22%	13	20%	7	12%	4	17%
2	33	10%	20	10%	13	9%	2	18%	6	13%	7	10%	12	18%	3	5%	3	5%	0	0%
3	125	37%	84	42%	41	29%	5	45%	12	27%	28	38%	20	31%	25	38%	25	43%	10	42%
4	106	31%	62	31%	44	31%	1	9%	18	40%	22	30%	16	25%	25	38%	17	29%	7	29%
5	17	5%	5	2%	12	9%	0	0%	2	4%	3	4%	3	5%	0	0%	6	10%	3	13%



- 各世代で「食品寄贈イベント」や「公民館等での受付」が多い結果となった。
- 学生世代（10代）や子育て世代（40代）では「学校での食品寄贈受付」を希望する回答が多い。
- ※ その他意見は後のページで纏めて掲載としている

その他意見など

(問4について)

- ニュースサイト広告
- 友人との会話

(問6について)

- ほとんどの店が衛生上、持ち帰りは禁止と断られる。(類似意見3件)
- 4(容器+保冷剤を準備)を選んだが、この行為はサービスの範囲では難しい。費用分担は持ち帰る人がして、そのあとの責任も当事者にある。という形ならOK。(類似意見2件)

(問7について)

- 地域のスーパーにブースを作るなど回収システムの構築(類似意見6件)
- 衛生面、安全面で問題が生じないか心配(類似意見5件)
- 一般家庭では余らないよう購入することが大事(類似意見5件)